

3.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル日本株式ファンドI-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆国内の証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況 (2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.85%	+0.97%
過去3ヵ月	▲14.05%	▲13.84%
過去6ヵ月	▲5.41%	▲4.78%
過去1年	▲10.03%	▲9.05%
過去3年	▲49.96%	▲47.42%
設定来	+5.53%	+2.60%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2010年7月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	15.1%
情報・通信業	8.9%
銀行業	7.9%
化学	7.7%
輸送用機器	7.5%
卸売業	5.4%
電気・ガス業	5.0%
医薬品業	4.9%
小売業	4.3%
機械	3.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.6%
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.4%
トヨタ自動車	輸送用機器	1.9%
三菱商事	卸売業	1.8%
日本電信電話	情報・通信業	1.8%
本田技研工業	輸送用機器	1.7%
日産自動車	輸送用機器	1.7%
東京電力	電気・ガス業	1.6%
エヌ・ティ・ティ・コム	情報・通信業	1.6%
武田薬品工業	医薬品	1.4%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
JPモルガン	グロース型	20%
パレコ	グロース型	19%
ゼブラ	バリュー型	18%
アライアンス・パースナリティ	バリュー型	20%
ファンテックス	マーケット・オリエンテッド型	23%

- ①比率は国内株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクワイブレーション(流動資金の株式化)部分を除きます。

基準価額の推移(2010年7月末現在)

【設定日:2002年9月30日】



(投資信託名)フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

(運用会社)フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況 (2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.53%	+0.97%
過去3ヵ月	▲13.90%	▲13.84%
過去6ヵ月	▲3.58%	▲4.78%
過去1年	▲6.80%	▲9.05%
過去3年	▲44.28%	▲47.42%
設定来	▲4.37%	▲9.45%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率 (2010年6月末現在)

市場	比率
東証1部	86.5%
東証2部	0.1%
シヤスタック	1.1%
その他市場	9.9%

■組入上位5業種 (2010年6月末現在)

業種	比率
電気機器	23.0%
銀行業	9.3%
機械	6.4%
情報・通信業	6.2%
小売業	5.5%

■株式組入上位10銘柄(2010年6月末現在)

銘柄	業種	比率
三井住友フィナンシャルグループ*	銀行業	3.4%
三菱UFJフィナンシャルグループ*	銀行業	2.9%
パナソニック電工	電気機器	2.8%
ミスマルーフ本社	卸売業	2.7%
三菱電機	電気機器	2.7%
ダイキン工業	機械	2.3%
日本電産	電気機器	2.2%
任天堂	その他製品	2.1%
オックス	その他金融業	2.1%
日立金属	鉄鋼	1.9%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

基準価額の推移(2010年7月末現在)

【設定日:2001年11月29日】



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式プラス型 (CS) 特別勘定

ファンドの特色等

- ◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュウ)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況 (2010年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲1.45%
過去3ヵ月	▲12.73%
過去6ヵ月	▲0.20%
過去1年	▲8.72%
過去3年	▲27.52%
設定来	+37.92%

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2010年7月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東京一部	88.8%
東京二部	3.2%
JASDAQ	1.5%
その他市場	2.1%
現金・その他	4.4%
合計	100.0%

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	12.1%
建設業	11.9%
機械	11.8%
化学	9.7%
卸売業	8.0%
銀行業	5.7%
金属製品	5.6%
情報・通信業	4.5%
食料品	4.2%
医薬品	3.3%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
第四銀行	銀行業	2.5%
天馬	化学	2.4%
長府製作所	金属製品	2.4%
東京応化工業	化学	2.3%
子ヨダ	小売業	2.2%
アマダ	機械	2.2%
新東工業	機械	2.2%
キッセイ薬品工業	医薬品	2.1%
関東天然瓦斯開発	鉱業	2.1%
日本電設工業	建設業	2.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)アムンディ・ジャパン株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型 (CS) 特別勘定
積極運用バランス型 (CS) 特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュウ型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況 (2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+5.75%	+6.42%
過去3ヵ月	▲13.01%	▲12.70%
過去6ヵ月	▲0.10%	▲2.16%
過去1年	+4.75%	+1.63%
過去3年	▲41.03%	▲42.54%
設定来	+10.12%	+12.98%

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2010年7月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	51.8%
ユーロ地域	21.1%
ユーロ除く欧州	22.4%
その他	4.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Nestle SA	CHF	1.6%
Intel Corp.	USD	1.4%
JULIUS BEAR GROUP	CHF	1.4%
CIE Financiere Richemont-BR A	CHF	1.3%
Glaxo SmithKline PLC	GBP	1.2%
Diageo PLC	GBP	1.1%
JPMorgan Chase & Co.	USD	1.1%
BANK OF NEW YORK MELLON	USD	1.1%
Walt Disney Co.	USD	1.0%
Inditex SA	EUR	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マーシコ	グロース型	15.0%
マッキンリー	グロース型	15.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
ハリス	バリュウ型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分を除く。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定
海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場(MSCIコクサイ指数)の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+6.23%	+6.14%
過去3ヵ月	▲13.57%	▲13.46%
過去6ヵ月	▲1.84%	▲1.45%
過去1年	+1.03%	+1.90%
過去3年	▲43.85%	▲42.33%
設定来	+20.30%	+30.66%

基準価額の推移(2010年7月末現在) [設定日:2002年9月24日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2010年7月末現在)

■地域・国別構成比率

地域・国	比率	地域・国	比率
北米	58.6%	イタリヤ	1.5%
アメリカ	53.0%	スペイン	1.9%
カナダ	5.5%	スウェーデン	1.5%
アジア・太平洋	6.3%	フィンランド	0.5%
オーストラリア	4.1%	ベルギー	0.5%
香港	1.2%	アイルランド	0.1%
シンガポール	0.8%	デンマーク	0.5%
ニュージーランド	0.1%	ルウェー	0.4%
欧州	32.3%	ギリシャ	0.2%
イギリス	10.8%	ポルトガル	0.1%
フランス	5.0%	オーストリア	0.2%
ドイツ	3.9%	アフリカ・中東	0.4%
スイス	3.9%	イスラエル	0.4%
オランダ	1.3%	その他(現金等)	2.5%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国籍	業種	比率
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.6%
APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.2%
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.1%
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.9%
HSCB HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.9%
GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.9%
NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.9%
IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.9%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	0.8%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.8%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆成長性があり且つ割安と判断される日本を除くアジア企業に分散投資します。
- ◆MSCIオール・カントリー・ファースト・インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「JFアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+5.90%	+4.74%
過去3ヵ月	▲8.01%	▲7.18%
過去6ヵ月	+1.92%	+4.20%
過去1年	▲1.07%	+5.57%
過去3年	▲37.23%	▲30.07%
設定来	+103.75%	+137.37%

基準価額の推移(2010年7月末現在) [設定日:2003年2月12日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■国別構成比率
(2010年7月末現在)

国	比率
中国	36.6%
韓国	22.7%
台湾	13.5%
香港	11.6%
シンガポール	7.6%
タイ	4.1%
インドネシア	3.6%
マレーシア	0.4%

※国別比率は組入株式を100%として計算しています。

■株式組入上位10銘柄(2010年6月末現在)

銘柄	国籍	業種	比率
SAMSUNG ELECTRONICS	韓国	半導体・半導体製造装置	5.9%
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	中国	銀行	5.1%
HON HAI PRECISION INDUSTRY CO.,LTD.	台湾	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.1%
IND & COMM BK OF CHINA-H	中国	銀行	3.9%
KB FINANCIAL GROUP INC	韓国	銀行	3.4%
JARDINE MATHESON HLDGS LTD	香港	資本財	2.9%
CNOOC LTD	中国	エネルギー	2.6%
CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	保険	2.5%
WHARF HOLDINGS	香港	不動産	2.0%
PT UNITED TRACTORS TBK	インドネシア	資本財	2.0%

※株式組入比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)
JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆主として、ロシア・東欧諸国で事業展開を行う企業に投資し、長期的な信託財産の成長を目指します。ロシア・東欧諸国の市場に上場する株式、DR(預託証券)、ロンドン等その他の市場に上場しているロシア・東欧諸国で事業展開を行う企業が投資の対象となります。
- ◆ファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行い、ルクセンブルグ籍の投資信託証券「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」および「SGAM Fund マネー マーケット(ユーロ)」に投資します。
- ◆ロシア・東欧株式への実質的な投資は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」を通じて行い、その組入れを高位に保ちます。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。

ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+6.68%
過去3ヵ月	▲11.99%
過去6ヵ月	+0.00%
過去1年	+29.11%
過去3年	▲53.10%
設 定 来	+7.31%

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:2005年3月31日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」の状況)(2010年7月末現在)

■国別構成比率

国	比率
ロシア	80.53%
ポーランド	12.89%
チェコ	3.72%
ウクライナ	1.22%
ハンガリー	0.77%
スロベニア	0.73%
カザフスタン	0.13%
ルーマニア	0.00%
トルクメニスタン	0.00%
カナダ	0.00%

■業種別構成比率

業種	比率
エネルギー	41.49%
金融	19.97%
素材	11.03%
生活必需品	9.17%
公益事業	4.96%
電気通信サービス	4.96%
資本財・サービス	3.24%
ヘルスケア	2.55%
一般消費財・サービス	1.76%
情報技術	0.86%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	比率
SBERBANK	9.21%
LUKOIL-SP ADR	9.12%
OAO GAZPROM-SP ADR	9.01%
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	4.62%
OAO ROSNEFT-GDR	4.45%
JSC MMC NORILSK NICKEL-ADR	4.41%
PKO BANK POLSKI SA	3.33%
CEZ AS	3.08%
SURGUTNEFTEGAZ-SP ADR	3.03%
TATNEFT-SPONSORED REGS GDR	2.87%

※各比率は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」における対純資産総額比率をいいます。

(出所)アムンディ・ジャパン株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆今後大きな経済成長/発展が期待されるエマージング(新興)諸国のリーダーBRICS5カ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)の企業に、「JPM・BRICS5・マザーファンド(適格機関投資家専用)」を通じて投資します。
- ◆基本資産配分をブラジル、ロシア、インド、中国、南アメリカ各20%ずつとしますが、マザーファンドの運用の委託先の判断に基づいて±10%の範囲内で基本資産比率の調整を行います。
- ◆マザーファンドの運用の指図に関する権限をJPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドに委託します。
- ◆原則として、為替ヘッジは行いません。

ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+6.41%
過去3ヵ月	▲7.33%
過去6ヵ月	+5.99%
過去1年	+18.60%
過去3年	▲18.03%
設 定 来	+43.95%

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:2007年5月26日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■国別構成比率
(2010年7月末現在)

国	比率
中国	22.0%
インド	21.0%
ロシア	20.7%
南アフリカ	19.2%
ブラジル	17.1%

■株式組入上位10銘柄(2010年6月末現在)

銘柄	国籍	業種	比率
ズベラバンク	ロシア	銀行	6.21%
HDFC	インド	銀行	4.46%
ノルスクニッケル	ロシア	素材	3.70%
招商銀行	中国	銀行	3.23%
インフォシス・テクノロジーズ	インド	ソフトウェア・サービス	2.99%
中国建設銀行	中国	銀行	2.92%
利豊	中国	小売	2.86%
華聞創業	中国	小売	2.81%
スタンダード・バンク・グループ	南アフリカ	銀行	2.48%
中国人寿保険	中国	保険	2.38%

※株式組入比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

※国別比率は組入株式を100%として計算しています。

(出所)JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定
世界債券プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
- ◆シティグループ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)アパディーン投信投資顧問株式会社

**ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)**

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.49%	+1.50%
過去3ヵ月	▲3.78%	▲3.84%
過去6ヵ月	▲1.87%	▲2.08%
過去1年	▲4.05%	▲4.49%
過去3年	▲10.84%	▲8.15%
設 定 来	+17.65%	+26.40%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:2002年8月1日]



ポートフォリオの状況(2010年7月末現在)

■国別構成比率
上位5カ国

国	比率
日本	28.92%
アメリカ	23.00%
イギリス	7.69%
ドイツ	7.46%
イタリア	6.56%

■通貨別構成比率
上位5通貨

通貨	比率
ユーロ	29.84%
日本円	28.92%
米ドル	26.58%
英ポンド	4.93%
カナダドル	1.73%

※各比率は、各マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンドの比率から算出しています。

■債券組入上位10銘柄

銘柄	通貨	償還日	クーポン	格付け	比率
アメリカ国債	USD	2012/11/15	1.375%	AAA	5.70%
イタリア国債	EUR	2019/09/01	4.250%	A+	3.03%
日本国債	JPY	2014/06/20	1.600%	AA	2.94%
日本国債	JPY	2012/06/20	1.500%	AA	2.92%
アメリカ国債	USD	2019/08/15	8.125%	AAA	2.75%
日本国債	JPY	2012/06/20	1.300%	AA	2.66%
ドイツ国債	EUR	2013/04/12	3.500%	AAA	2.49%
日本国債	JPY	2018/09/20	2.300%	AA	2.14%
アメリカ国債	USD	2016/11/30	2.750%	AAA	1.93%
オランダ国債	EUR	2018/07/15	4.000%	AAA	1.85%

(投資信託名)ピムコ・海外債券ファンド

(運用会社)ピムコ ジャパン リミテッド

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆主に日本を除く主要先進国の国債、モーゲージ債、社債等を主要投資対象とし、債券からくるインカム収入だけでなく、キャピタル・ゲインも含めたトータル・リターンを最大化することを目的とします。
- ◆シティグループ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)90%および1ヶ月LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
- ◆ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行い、ケイマン籍円建て外国投資信託「ピムコ・ケイマン・グローバル(除く日本)債券ファンド」に90%程度、「ピムコ・ケイマン・ショートターム・モーゲージ・ファンド」に10%程度投資することを基本とします。

(出所)ピムコ ジャパン リミテッド

**ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)**

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.70%	+2.44%
過去3ヵ月	▲4.90%	▲5.05%
過去6ヵ月	▲1.16%	▲2.64%
過去1年	▲0.53%	▲6.13%
過去3年	▲7.36%	▲12.60%
設 定 来	+26.82%	+20.90%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:2002年9月24日]



ポートフォリオの状況(2010年7月末現在)

■ポートフォリオ・プロフィール

平均最終利回り	2.93%
平均デュレーション	6.30年
平均償還期間	9.04年
平均格付け	AAA

■種別構成比

種類	比率
国債、エージェンシー債	82.03%
モーゲージ債、アセットバック債	1.80%
社債	15.86%
キャッシュ等	0.31%

■国・地域別構成比

国・地域	比率
アメリカ	35.30%
ユーロ圏	45.84%
イギリス	9.71%
カナダ	6.28%
スウェーデン	0.00%
ポーランド	0.00%
オーストラリア	2.71%
日本	0.16%

■格付け別構成比

格付け	比率
AAA	79.25%
AA	5.08%
A	3.90%
BBB	1.83%
BB以下	0.04%
A1/P1	9.89%
A2/P2	0.00%

※数値は全て、当ファンドが組入れている2本のファンドを合算して算出しています。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆米ドル建て高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を中心に分散投資を行います。
- ◆格付けに関しては、主に、Ba格(ムーディーズ社)以下またはBB格(スタンダード・アンド・プアーズ社)以下の格付けの事業債に投資を行い、一部、格付けを持たない債券や、米国以外の国の発行体の高利回り事業債を組入れることもあります。
- ◆銘柄選別に関しては、個別企業分析により判断します。
- ◆個別企業分析にあたっては、個別の企業の信用分析とポートフォリオ・マネージャーによるボトム・アップ・アプローチを重視した運用を行います。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.42%	+1.36%
過去3ヵ月	▲7.59%	▲6.82%
過去6ヵ月	+2.21%	+3.06%
過去1年	+8.92%	+12.82%
過去3年	▲9.32%	▲5.35%
設 定 来	+27.55%	+38.33%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:1998年4月1日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■格付け別構成比
(2010年6月末現在)

格付け	比率
A以上	0.4%
BBB/Baa	3.8%
BB/Ba	26.9%
B	47.8%
CCC/Caa	19.0%
CC/Cal以下	0.9%
格付なし	1.3%

■組入上位5業種
(2010年6月末現在)

業種	比率
通信	13.3%
金融/投資	9.0%
健康サービス	7.8%
エネルギー	7.6%
テクノロジー/エレクトロニクス	6.4%

※格付別比率は対投資債券比率、組入業種比率は対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄(2010年6月末現在)

銘柄	業種	格付	比率
AESコーポレーション	公益	BB/Ba	1.0%
CCH II LLC/CCH MTN	メディア・ケーブル	B	1.0%
CITグループ・インク	金融/投資	B	1.0%
アリスカール・セコンダリア	テクノロジー/エレクトロニクス	B	0.9%
CITグループ・インク	金融/投資	B	0.8%
サービスマスター・PK	支援・サービス	B	0.8%
アイオンENT/FIN	金融/投資	BBB/Baa	0.8%
リアリズム・グループ*	不動産	C	0.8%
SPDR パークレーズ・キャピタル HY	金融/投資	-	0.8%
インルギー・フューチャー	公益	B	0.8%

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況
(2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.35%	+0.32%
過去3ヵ月	+1.68%	+1.71%
過去6ヵ月	+2.76%	+2.51%
過去1年	+5.21%	+4.12%
過去3年	+9.19%	+10.01%
設 定 来	+10.99%	+13.02%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2010年7月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2010年7月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	66.2%
地方債	0.0%
政府保証債	0.7%
金融債	0.0%
事業債	25.7%
円建外債	2.7%
M B S	0.0%
A B S	0.0%
その他	4.7%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
りそな	広範囲型	50%
DIAM	広範囲型	50%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型 (CS) 特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保を目的として安定運用を行います。
- ◆NOMURA-BPI 総合短期 (NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合短期) をベンチマークとします。
- ◆デュレーション、公社債のセクター (種別・格付別等) 配分、個別銘柄選定等をアクティブに決定・変更し、収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ノムラ短期債券オープン マザーファンド」を主要投資対象とします。

NOMURA-BPI 総合 (NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合) は野村證券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。NOMURA-BPI 総合短期は、残存期間1年～3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数で、一定の銘柄採用基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

(出所)野村アセットマネジメント株式会社ホームページより

ファンドの騰落状況(2010年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1年	+1.0%	+0.8%
過去2年	+1.2%	+1.2%
過去3年	+0.7%	+1.3%
設定来	+6.4%	+5.4%

※騰落状況は分配金を税引前で再投資したものとして計算しています。
 ※2～3年の騰落率は年率平均 (複利ベース)
 ※設定来=2002年4月26日以降

ポートフォリオの状況(2010年7月末現在)

■デュレーション ■種別構成比

2.2年

種別	比率
国債	57.6%
地方債	2.2%
政府保証債	1.6%
円建資産	
金融債	2.1%
事業債	27.4%
円建外債	4.9%
MBS	-
ABS	-
その他の債券	1.6%
その他の資産	2.5%
外貨建資産	-

■格付別構成比

格付	比率
AAA	63.8%
AA	14.1%
A	16.3%
BBB	3.2%
BB	-
B以下	-
その他	2.5%

※「デュレーション」は短期金融資産 (キャッシュ等) を含めたファンド全体のデュレーションをいいます。
 ※「種別構成比」における円建資産の種別は、ベンチマークの資産構成比に準じて表示しています。ベンチマークの種別に該当しない債券はその他債券とします。
 ※格付は、指定格付機関から受けている格付のうち、最も高い格付けによります。
 ※比率は、マザーファンドにおける対純資産総額比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しています。

(投資信託名)フィデリティ・マネー・プールVA

(運用会社)フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型 (CS) 特別勘定

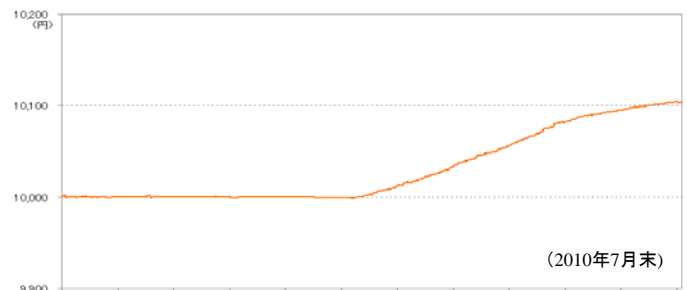
ファンドの特色等

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況 (2010年7月末基準)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.00%
過去3ヵ月	+0.02%
過去6ヵ月	+0.05%
過去1年	+0.12%
過去3年	+0.75%
設定来	+1.04%

基準価額の推移 (2010年7月末現在) [設定日:2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものとして計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール (2010年6月末現在)

平均残存日数	45.99日
平均残存年数	0.13年

■格付別構成比 (2010年6月末現在)

	格付	比率
長期債券	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	103.8%
短期債券	A	-
	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		-3.8%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄 (2010年6月末現在)

銘柄	格付	比率
第109回 国庫短期証券 2010/08/23	AA/Aa	24.0%
第104回 国庫短期証券 2010/08/02	AA/Aa	15.0%
第103回 国庫短期証券 2010/07/26	AA/Aa	13.2%
第101回 国庫短期証券 2010/07/20	AA/Aa	10.8%
第98回 国庫短期証券 2010/07/05	AA/Aa	9.0%
第118回 国庫短期証券 2010/10/04	AA/Aa	7.8%
第105回 国庫短期証券 2010/08/09	AA/Aa	6.0%
第116回 国庫短期証券 2010/09/21	AA/Aa	6.0%
第111回 国庫短期証券 2010/08/30	AA/Aa	4.2%
第114回 国庫短期証券 2010/09/13	AA/Aa	4.2%

(出所)フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。